

シンポジウム

「地域の環境保全と持続可能な発展に役立つ 科学を求めて」

地域環境学ネットワーク・設立記念シンポジウム

開催日 9月18日(土) 13:00～18:30
19日(日) 13:00～17:30
(ポスターセッション 19日 10:00～12:00)

場所 大阪学院大学2号館・B1-02教室

全国には大学にこもらず、地域の博物館やセンターに常駐し、あるいは何度も足を運んで、地域の里山や里海の保全に尽力している研究者が多数おります。

地域のひとびととともに力を合わせて生態系の保全につとめている、そのような研究者が一同に会して、シンポジウムを行います。

地域に役立つ科学とはなにか、どのように地域の方々と手を取りあっていけばよいか、時に悩み、時に格闘しながら、日夜、環境をよくしたいと取り組む研究者が、北は北海道から南は沖縄まで、様々な事例を交えて話し合います。

吹田でも、大学やプラザ、アジェンダ、NGO/NPO など、地域にかかわり、地域の環境をよりよくしようと取り組みつつありますが、日ごろの活動に大いに参考になるでしょう。

発表するのはほとんどが研究者ですが、「その言葉、難しすぎて、わかれへんで！」と口をはさんでいただいて結構です。できるだけ多くの市内の市民の方々に参加していただきますよう、お声かけのほど、よろしく願いいたします。

発表者所属

大阪大学、長野大学、鳥取大学、東北大学、横浜国立大学、徳島大学、総合地球環境研究所、金沢大学
恩納村漁協、社団法人エゾシカ協会、株式会社四季工房、矢作川森の健康診断実行委員会、白保魚湧く海
保全協議会、NPO 法人黒潮実感センター、沖縄県八重山農林水産振興センター

詳細：公式サイト「地域環境学ネットワーク設立記念シンポジウム」

<http://www2.nagano.ac.jp/sato/symposium2010/index.html>